

科 目	地理総合	学年・類型	1年 普通科	単位数	2
教科書	わたしたちの地理総合（二宮書店） 基本地図帳（二宮書店）				
副教材等	なし				
学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けています。	位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察する。地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしています。	よりよい社会の実現に向け課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めようとしています。		
評価方法	各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び5段階評定で評価します。観点別評価はA・B・Cの3段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テストなど、「思考・判断・表現」は定期考査、パフォーマンス課題やレポート、授業中の発表内容など、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などをもとに評価します。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	1章 地図とGISの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・時差と生活、図法を理解します。 ・球面上の正しい方位や時差、図法によって異なる世界地図の特色を理解します。 ・国家の3要素や国境、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国との間の領有権問題について理解します。 			
	2章 生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察します。 ・観光、交通・通信、貿易・物流の視点から、人や物・資本・サービス、情報の国際的な移動のようすを理解します。 			
二 学 期	3章 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各気候帯の自然環境の特色、人々の暮らしと工夫について、写真や雨温図、分布図などの資料から考察します。 ・地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題の仕組みを構造的に理解します。 ・地球環境を守り持続可能な発展を実現するためには、国際的な協力体制が必要なだけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められます。環境問題と自分自身とのつながりを意識し、SDGsの因果関係も捉えながら具体的な取組を構想します。 			
三 学 期	4章 生活圏の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島では自然による恩恵だけでなく、風水害、火山、地震・津波、都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉えます。その要因と特徴、災害の地域性、防災や減災への取り組みや課題を考察し地形図やハザードマップなどを活用し、自らの生活圏の防災について考察し、表現する技能を身に付けます。 			